

2月号 No.298

2月の休園日：2日（月）、9日（月）、16（月）24日（火）



今月のイベント

2月3日（火）

【節分イベント】

カピバラ温泉は枝豆風呂だよ！鬼は～外！！



2月3日（火）～3月1日（日）

【猫の日イベント】

21日（土）～23日（月）は特別ガイドあり！

2月14日（土）、15日（日）

【バレンタインZOO】

各イベントの詳しい内容はホームページをご覧ください。



ホオジロカンムリヅルの「びっくり顔」を観察!!



①ほおが白い。
(種名の由来その1)

②頭にトゲのような
冠羽がはえている。
羽なのでさわっても
いたくない。

③おでこの真っ黒な
かたまりは、とても小
さな羽根が集まって
はえている。なめらか

でやわらかい。

④目が点！うすい灰色に
黒い点。(虹彩は薄い
灰色、瞳孔は黒い)

⑤先のとがった長いくち
ばし。草や土の中から
虫をつかまえて食べる。

⑥上のくちばしに開いてい
る穴は鼻の穴。(鳥類の特
ちよう)

⑦アゴには赤い肉垂がある。(ニワトリと同じ)
メスよりオスの方が大きいことが多い。

～寒いけど元気いっぱい～

春が待ち遠しい！そんな寒い日が続いていますね！

2025年の4月に当園で生まれたシナガチョウたちが初めての冬を迎えました！

こんなに寒い日が続いていても、シナガチョウたちは一緒に生活するコールダックたちとプールで泳いでいます。見てるこっちが寒くなってしまいます・・・。

でも、シナガチョウのように水辺で生活をする水鳥たちは、へっちゃらなんです。

その秘密は、特別な血管構造と温かい羽毛にあります！

水鳥たちの足には「ワンダーネット」と呼ばれる仕組みがあり、温かい血液が流れる動脈と外気で冷やされ冷たくなった血液が流れる静脈が絡み合い、熱の交換を行うことで、体の中心を冷やさない造りになっています！

そして、シナガチョウの羽はダウンジャケットや羽毛布団に使われるほど、良質で温かいものです！

このことを知ると、なんだか温かくなってきた気がしませんか！？

生き物の生態は知れば知るほど面白いですね！

今日もシナガチョウたちは元気に過ごしています。ゆっくり観察していると新しい発見があるかもしれません！是非、会いに来てください！

シナガチョウ担当 中村



オグロプレーリードッグの冬

皆さん、冬の時期のプレーリードッグを見たことがありますか？冬はなかなか姿を見ることが難しいかもしれません・・・。それは、寒いから。

オグロプレーリードッグは北アメリカの草原地帯で、地面の中に巣穴を掘って生活する動物です。巣穴の中は外気温に関わらず比較的安定しています。当園では土の代わりに干し草を敷いています。巣穴代わりの寝室があり、その中にも草をたくさん入れるので、その中に入っています。私たちも、寒い時には布団から出たくないですよね。プレーリードッグたちも、寒くなるとなかなか草の中から出てこなくなるので、皆さんが見ることができる時間が限られてしまうんです。

また、プレーリードッグは冬に繁殖する動物です。そのため、冬の間は繁殖管理のために雌雄分けて飼育をするため、展示場で観察することができる個体が限られてしまいます。皆さんからよく見えるのは展示場に出てくる1組の繁殖ペア。その他の個体は雌雄で部屋を分けて飼育していますが、一番端の部屋の中は来園者の皆さんからも見ることができます。ここには5頭の雄がいますので、ぜひ覗いてみてくださいね。

しばらくはプレーリードッグの数が少なくて寂しいですが、賑やかな春をお待ちください。

オグロプレーリードッグ担当 矢嶋



須坂市動物園／臥竜公園管理事務所

Tel : 026-245-1770 Fax : 026-248-1793



HPは、こちら！